

1 令和元年度霧島市土地開発公社事業報告書

(1) 総括事項

霧島市土地開発公社は、平成26年3月に設立団体である霧島市により策定された、「霧島市土地開発公社解散プラン」に基づき、平成30年度末に解散予定とされていましたが、平成30年6月議会において、解散時期については再考するとの市の方針が示され、解散時期は延伸されました。このことにより、令和元年度は、主に公社分譲地の販売PR等の促進や、長期保有土地の縮減を図るなど、残余財産の処分に係る取組を行ってまいりました。

令和元年度における主な取得と処分は次のとおりです。

1 公有地事業

(1) 公有用地 (P3)

(取得) なし

(処分) なし

(2) 特定土地 (P4)

(取得) なし

(処分) 中台用地	895.00 m ²	1筆	7,035,000円	個人へ
重久住宅代替用地	1981.00 m ²	1筆	1,000,000円	個人へ

2 土地造成事業 (P5…完成土地等、P6…開発中土地)

(取得) なし

(処分) なし

これらの明細につきましては、P3～6の用地別明細表のとおりでございます。令和元年度期末の保有地全体面積は342,638.13m²、残り19用地で、期末残高金額は403,444,393円となります。

次に損益の状況といたしまして、P12からの損益計算書により、事業収益8,035,000円と事業原価6,092,000円の差額1,943,000円に販売費及び一般管理費17,943,781円を減額しますと、事業損失16,000,781円となり、さらに事業外収益4,557,921円及び、事業外費用6,119円を加減しますと、11,448,979円の経常損失となります。これに特別利益及び特別損失を加減しますが、本年度は特別利益及び特別損失がありませんので、11,448,979円の当期純損失が生じることとなりました。この損失は、前期繰越準備金521,217,984円を減額して整理いたしましたところでございます。

また、資産及び負債の状況につきましては、P14からの貸借対照表により、資産合計

548,430,429円に対し負債合計28,661,424円で差引き純財産（資本合計）は519,769,005円でございます。

借入金償還金につきましては、平成29年度で完済しており、今年度も新たな借入れは行っていないため、0円となっております。

以上で、令和元年度霧島市土地開発公社業務の概況を申し上げ、詳細につきましては、次のとおり報告いたします。